

森林管理業務にシステムを活用した事例を紹介します。

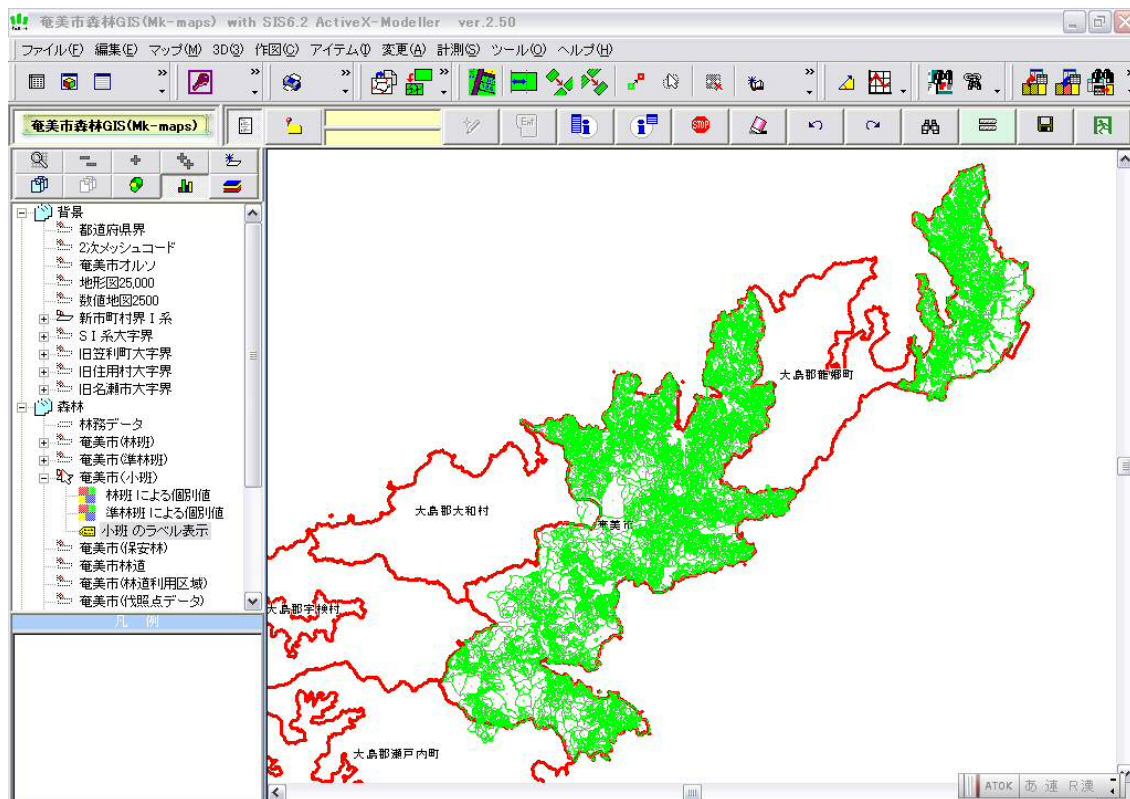
(1/2)

活用する団体： 市町村

## 取組概要

内容：森林基本計画の見直し業務において、県で整備している森林基本図のGISデータを水土里情報システムに取り込み活用している。また併せて森林簿データをシステムの小班データと突合せせることにより、他データベースの取り込み・参照も行うことが可能である。

経緯：①県で整備している森林基本図のGISデータ(BDS形式ファイル)を本会水土里情報システムに取り込み、閲覧ができないかとの依頼があった。  
② GISデータ(BDS形式ファイル)のシステム取り込み・閲覧は可能となり、さらに県で整備している森林簿データ(CSVデータ)を森林基本図図形と突合し、連動して閲覧ができた。

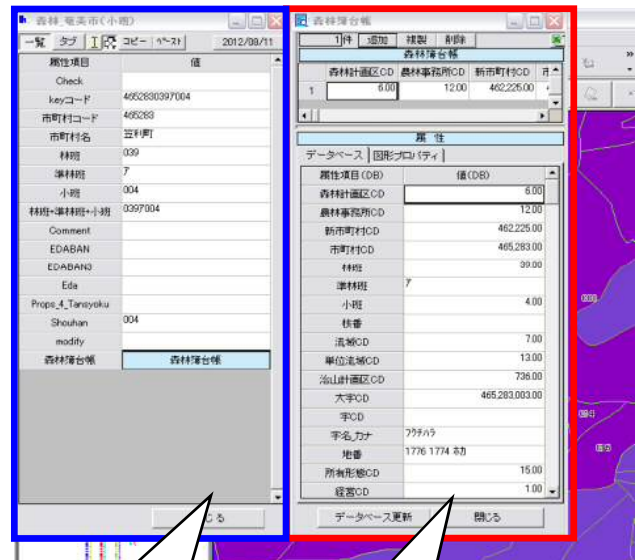
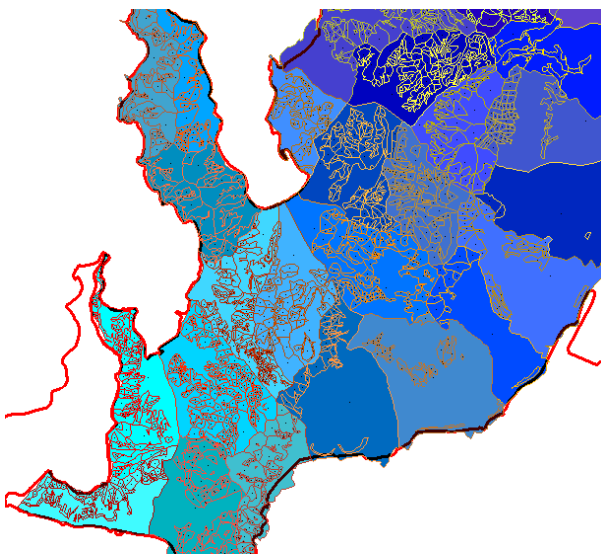


森林基本図(小班)データを取り込んだ図

## 期待される効果

- ① 既存に県で整備されたGISデータを活用することにより、新規のデータ作成が不要。
- ② 森林簿の内容が本システムに取り込めるため、図面と台帳の把握が容易。
- ③ 森林見直し作業がシステムにより視覚化され、状況が把握しやすくなった。

・図形に属性を持たせることで、様々な色分け表示が可能。(図は小班図形の林班属性による色分け)



システムにて取り込んだ小班図形の属性

既存の森林簿データベース

## 今後の活用予定

他機関で保有しているGISデータも本システムにて閲覧が可能であり、今後は各所属で共有できるデータは同じシステムで管理していきたい。

## 利用者の声

森林再生に向けた計画の見直しや林地開発等の申請作業事務に役立つ。